

情報通信部会長報告

1. 事業名 ITツール活用セミナー
2. 内容 最新のITツールの導入のコツや事例について紹介することで、企業の業務効率化・コスト削減を実現に繋げることを目的として実施。
3. 日時 2023年6月21日（水） 13：30～15：00
4. 場所 ANAクラウンプラザホテル
5. 出席者 **25名**（うちオンライン参加5名）
6. 講演
テーマ 「時代はDXだと言われてもなにかから始めたらよいのか
分からない方のためのDX体験会
講師 (株)ドコモビジネスソリューションズ
営業推進部門 芳賀善幸氏

【DXとは】

今までの行動や業務をデジタルを活用することにより、社会や企業、生活様式を変革すること。

【DXが現在注目されている理由】

・ 短期的な理由

新型コロナウイルスや災害等の突発的な事象により、**行動や対面の接触が制限される中、デジタルによって事業活動を補うことができる。**

・ 中長期的な理由

人口構造の変化によって、**将来さらに人材確保が難しくなることが考えられる中、デジタルによって人材不足等を補うことができる。**

【DXを進めるうえでの課題】

- ・ **人材不足、費用対効果が不明、資金不足などが挙げられる。**

簡単接続ウェブ会議ツール (dXオンライン営業)

<概要>

WEB上でオンライン会議を行うことができる。

<特徴>

【接続が簡単】

WEBブラウザ上のツールの為、アプリのインストールが不要。

【便利機能が満載】

プレゼン機能、レコーディング、共有メモ・ホワイトボード、モニタリング機能、オート議事録

【安心セキュリティ】

- ・セキュリティに特化した直接通信
- ・ロック機能により関係者以外の侵入を防止できる。

社内PC遠隔操作ツール (splashtop)

<概要>

タブレットから会社のPCを遠隔操作することができる。

<特徴>

【スムーズな操作性】

フレームレートが高いため、スムーズに操作することができる。

【セキュアなアクセス】

情報が第三者に見られず、他者に書き換えられることもなく、安全に情報に触ることができる。

【使い方が分かりやすい】

パソコンと同じ感覚で操作が可能

【既存システムの流用】

ツールを導入するためにシステムを変更する必要がない。

視界共有ツール (スマートグラス)

<概要>

スマートグラスを頭に装着することで、支援者と視界を共有をすることができる。

<特徴>

【ハンズフリー】

音声でツールを操作できるため、両手を使用して作業ができる。

【音声によるコミュニケーション】

視界共有している支援者と音声によるコミュニケーションができる。

【目線カメラで映像を送信】

ツール使用者の視界が、支援者と映像共有できるため遠隔で指示することができる。

【小型ディスプレイで指示を受信】

支援者が指示した内容を、ツールに搭載されている小型ディスプレイで確認することができる。

まるごとビジネスサポート

<概要>

企業に勤めている方々を対象に、ICTを使いこなすためのサポートサービス。

【サポート内容】

オフィスICT機器から業務用アプリ・ソフトまでメーカーキャリア問わず幅広くサポート。

【サポート方法】

コールセンター、リモートサポート、訪問サポート



体験の様子 (スマートグラス)

補助金の紹介

「ものづくり・商業・サービス補助金」

生産性向上の取り組みに関して広く使える

【補助額】 750万円～5,000万円（申込む枠により変動）

【補助率】 1/2～2/3

- 【活用例】
- ・複数形状の餃子を製造可能な餃子全自動製造機を開発。
 - ・作業を省力化するため、顧客・受注・作業員を一体的に管理するシステムを導入。
 - ・AIを導入した自立移動式無地搬送ロボットの試作開発。

「IT導入補助金」

ソフトウェア等のITツールの導入に活用

【補助額】 下限なし～450万円（申込む枠により変動）

【補助率】 1/2～3/4

- 【活用例】
- ・WEB会議ツールを導入し、社外からリモート会議に参加できる環境を整備。
 - ・タイムカードによる勤怠管理ツール導入し、社外からで打刻できる環境を設備。